

株式会社 GSIクレオス

2023年3月期

決算説明会

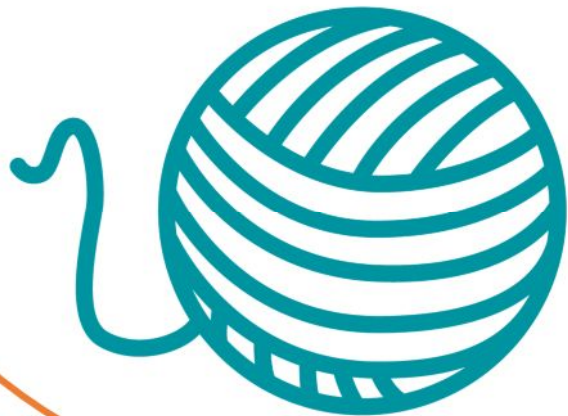
2023年6月20日



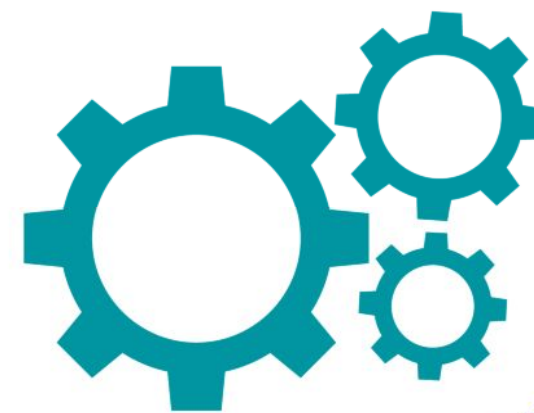
- 会社概要 3
- 2023年3月期決算概要 7
- 中期経営計画”GSI CONNECT 2024“の進捗状況
および2024年3月期業績予想 17
- 株主還元 31

繊維と工業製品の“事業創造型商社”

繊維事業



工業製品事業



それぞれの強みを
融合して
新たな価値の創出

企画提案、素材やテキスタイルの開発・調達から製品の生産および自社ブランドの展開まで、「繊維」ビジネスに幅広く対応。

2023年3月期から従来の繊維事業を3つのセグメントに分割

ファイバー



原糸・繊維原料
メディカル繊維原料・製品

アウター



アパレル製品 (OEM、ODM)
生地 (テキスタイル)
自社ブランド

インナー



インナー製品 (OEM、ODM)
インナー用生地
自社ブランド

「半導体関連」「化成品」「ホビー＆ライフ」「機械・材料」の分野で、
専門性豊かな商品・商材を提供。

2023年3月期から従来の工業製品事業を4つのセグメントに分割

セミコンダクター



半導体製造装置
半導体部材

ケミカル



塗料原料
機能性樹脂
カーボンナノチューブ

ホビー＆ライフ



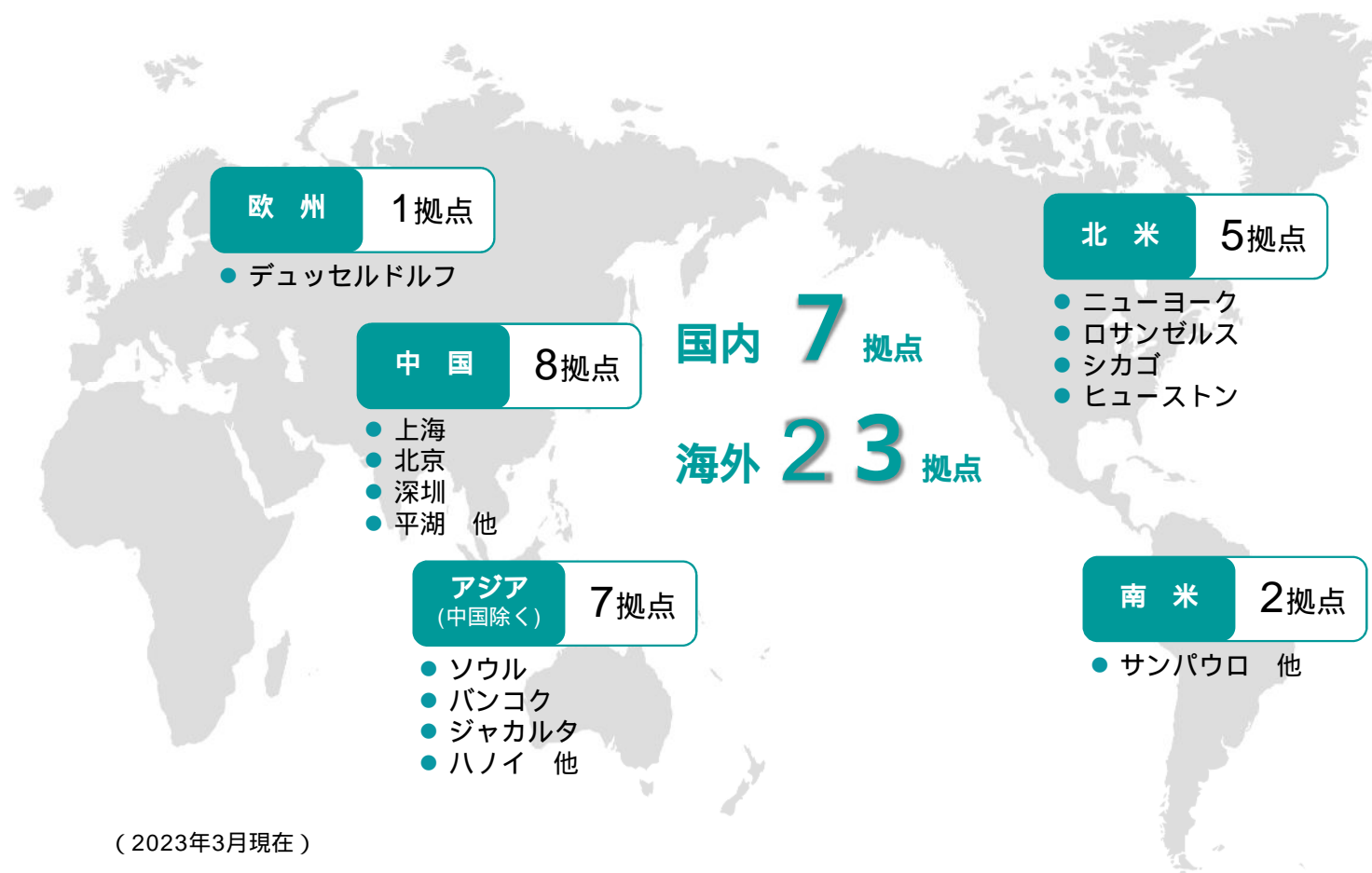
ホビー関連商材
化粧品原料

マシナリー＆ イクイップメント



産業機械・繊維機械
理化学機器

世界各地に広がるグループネットワークを活かした海外展開



2023年3月期決算概要



業績サマリー

Point

世界的な物価上昇や急激な円安など、先行き不透明な事業環境のなか、前期を超える売上高と純利益を確保。

- ・繊維事業：前期比で増収減益。全セグメントで増収となるも、一部取引先に対して貸倒に関する費用を計上したことなどから減益。
- ・工業製品事業：前期比で増収増益。ホビー関連商材がやや停滞したものの、半導体関連商材でカバー。
- ・営業利益および経常利益は若干の減益。特別利益として投資有価証券売却益を計上。

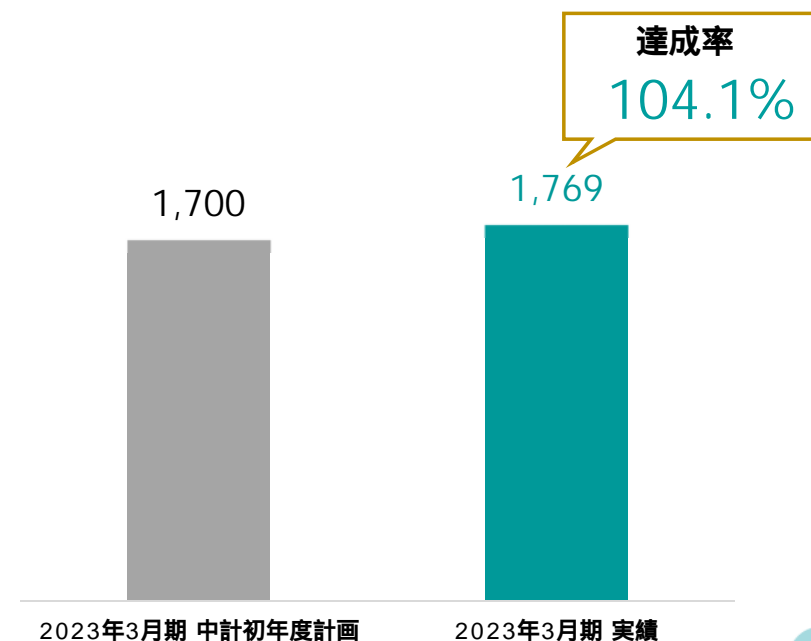
経営成績（百万円）	2022年3月期	2023年3月期	前期比 （金額）	前期比 （％）
売上高	111,829	131,054	<u>19,224</u>	<u>17.2</u>
売上総利益	12,942	14,020	<u>1,078</u>	<u>8.3</u>
販売費及び一般管理費	10,934	12,190	1,256	11.5
営業利益	2,008	1,829	178	8.9
営業利益率（％）	1.8	1.4	0.4pt	-
経常利益	1,882	1,787	95	5.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,638	1,769	<u>130</u>	<u>8.0</u>

業績サマリー（公表業績予想比）

Point

- ・中期経営計画の**初年度当期純利益計画を達成**。
- ・貸倒に関する費用の計上により、業績予想（営業利益、経常利益）を下方修正。
- ・株主還元：予想を超える業績により、期末（年間）配当金は、**前期比8円増配の73円**。

科目（百万円）	2023年3月期 中計初年度計画 （2022/5/13公表）	2023年3月期 直近公表予想 （2023/3/23公表）	2023年3月期 実績
売上高	117,000	130,000	131,054
営業利益	2,400	1,600	1,829
経常利益	2,400	1,700	1,787
親会社株主に帰属 する当期純利益	<u>1,700</u>	1,700	<u>1,769</u>
<u>1株当たり配当金</u>	<u>70.0円</u>	70.0円	<u>73.0円</u>

親会社株主に帰属する当期純利益
中計初年度計画との比較

セグメント別業績（前期比）売上高

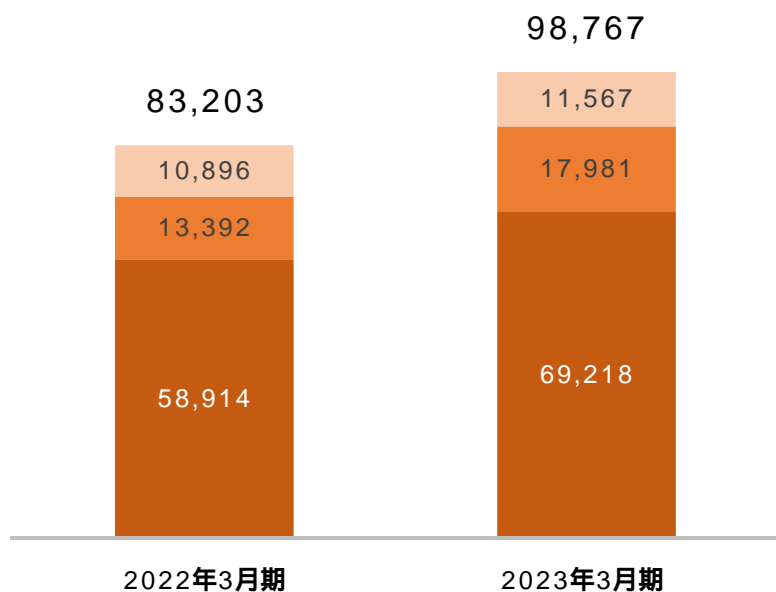
全社売上高

2022年3月期 111,829百万円 → 2023年3月期 131,054百万円

繊維事業

(百万円)

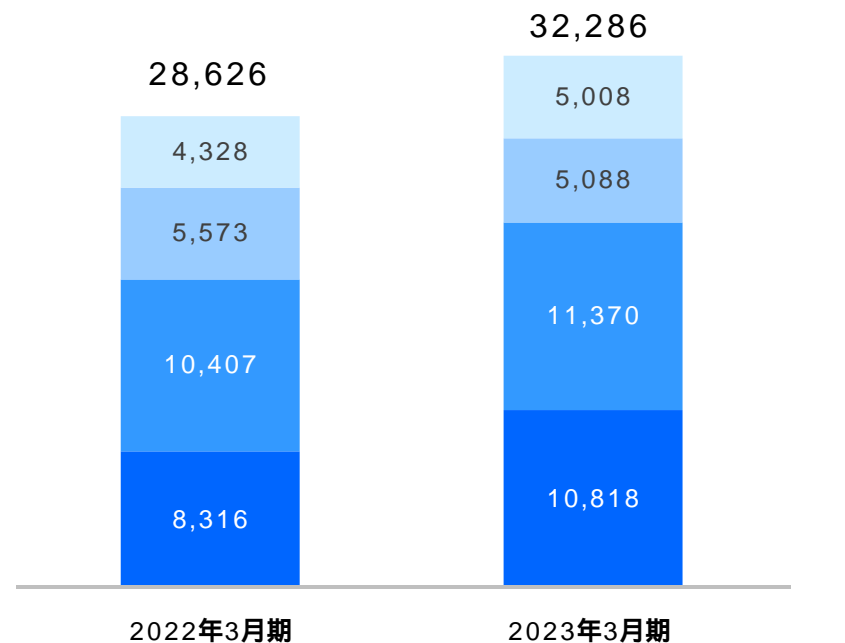
■ ファイバー ■ アウター ■ インナー



工業製品事業

(百万円)

■ セミコンダクター ■ ケミカル
■ ホビー&ライフ ■ マシナリー&イクイップメント



セグメント別業績（前期比） 営業利益

全社営業利益

2022年3月期 2,008百万円

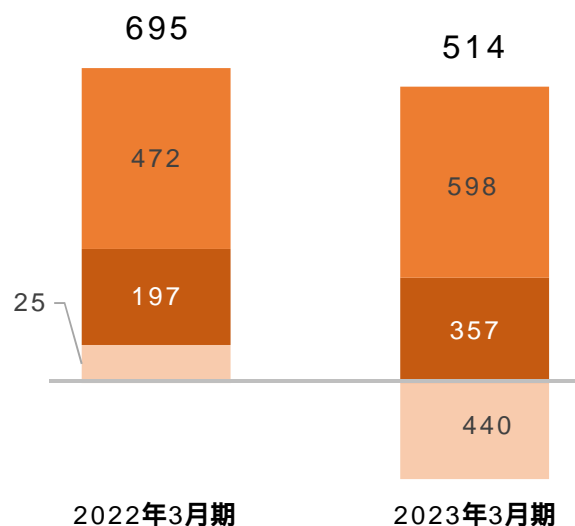


2023年3月期 1,829百万円

繊維事業

(百万円)

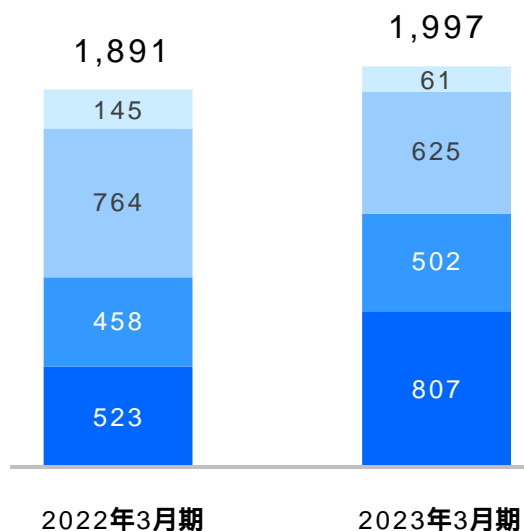
■ インナー ■ ファイバー ■ アウター



工業製品事業

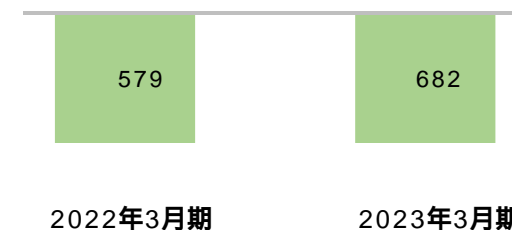
(百万円)

■ セミコンダクター ■ ホビー&ライフ ■ ケミカル ■ マシナリー&イクイップメント

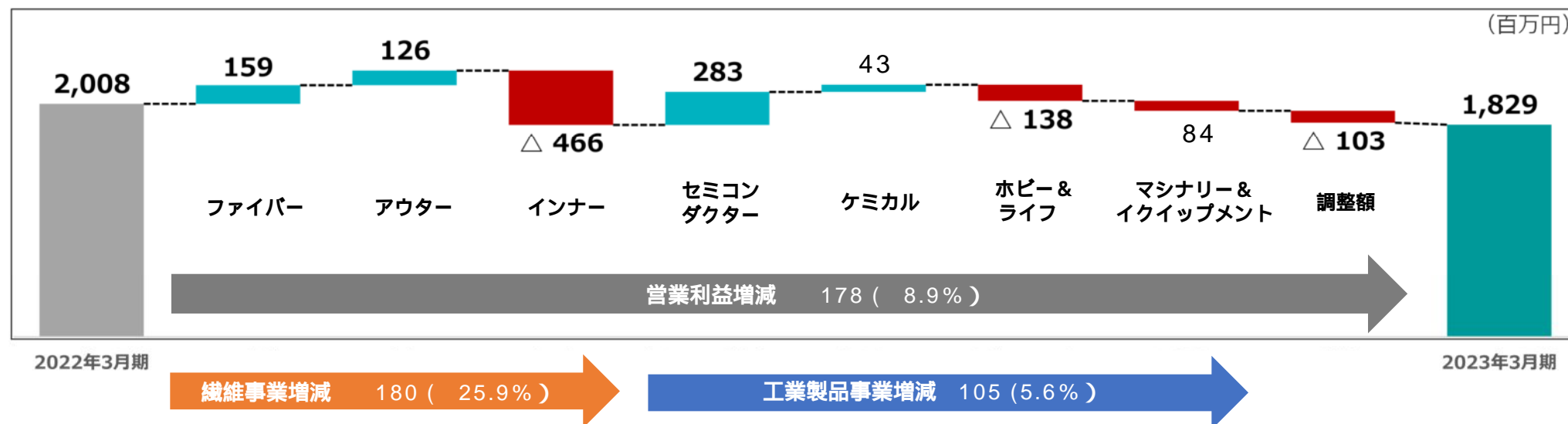


調整額

(百万円)



セグメント別業績（前期比） 営業利益増減要因



主な増減要因

繊維事業	
苦戦：全セグメントで増収も、一部取引先に対して貸倒に関する費用を計上	
ファイバー	アジアでのインナー用機能系・生地が取引が回復基調。加えて円安効果により同取引の海外売上高が増加。
アウター	欧米アパレル向け生地の出取引などが需要増を背景に増加し、貸倒に関する費用を計上するも増益。
インナー	原材料価格の高騰や円安の影響によるコストアップ、貸倒に関する費用の計上により大幅な減益（営業損失）。

工業製品事業	
堅調：ホビー関連商材がやや停滞したものの、半導体関連商材でカバー	
セミコンダクター	半導体関連部材の取引が好調に推移。前期に連結子会社化したGSI Creos Technology (China) Co., Ltd.も寄与。
ケミカル	需要増を背景に、機能性樹脂・フィルムが取引が国内で堅調に推移、塗料原料の取引も海外での拡販が進む。
ホビー&ライフ	環境配慮型のホビー関連商材など好調な商材はあったものの、巣ごもり需要の一服や中国ロックダウンの影響により減益。
マシナリー&イクイップメント	複合材関連の機械および部品の取引が増加するも、輸入中心の理化学機器の取引が円安の影響を受け減益。

連結貸借対照表

Point

【総資産】売上債権の増加などにより増加。

【負債】仕入債務の増加などにより増加。

【純資産】親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本の増加などにより増加。

経営成績 (百万円)	前期末 (2022年3月末)	当期末 (2023年3月末)	前期末比
総資産	60,929	69,412	8,482
負債 (ネット有利子負債)	36,416 4,477	43,482 6,283	7,066 1,806
純資産	24,512	25,929	1,416
自己資本	24,512	25,929	1,416
自己資本比率	40.2%	37.4%	2.8pt

キャッシュ・フローの状況

Point

【営業活動によるCF】売上債権の増加などにより1,719百万円の支出。

【投資活動によるCF】投資有価証券の売却による収入などにより1,257百万円の収入。

【財務活動によるCF】短期借入金の純増減額などにより632百万円の収入。

経営成績 (百万円)	2022年3月期	2023年3月期	前期比
営業活動によるCF	7,084	1,719	5,364
投資活動によるCF	622	1,257	635
(フリー・キャッシュ・フロー)	6,461	462	5,999
財務活動によるCF	481	632	1,114
換算差額	426	103	322
現金・現金同等物の増減額	6,516	274	6,791

海外売上高

Point

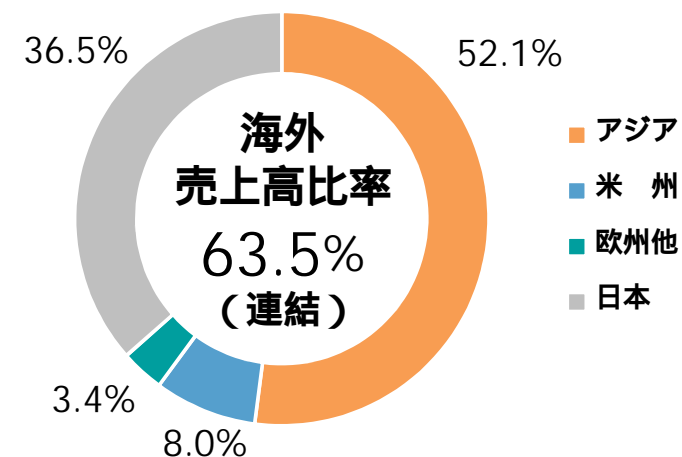
・海外売上高比率は高水準を維持

(アジア) インナー用機能系・生地取引の回復基調に加え、為替変動により同取引の海外売上高が増加

(百万円)

地域	2022年3月期		2023年3月期		前期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (pt)
アジア	56,495	50.5	68,317	52.1	11,822	1.6pt
米州	9,051	8.1	10,458	8.0	1,406	0.1pt
欧州他	3,549	3.2	4,432	3.4	883	0.2pt
海外売上高	69,096	61.8	83,208	63.5	14,111	1.7pt

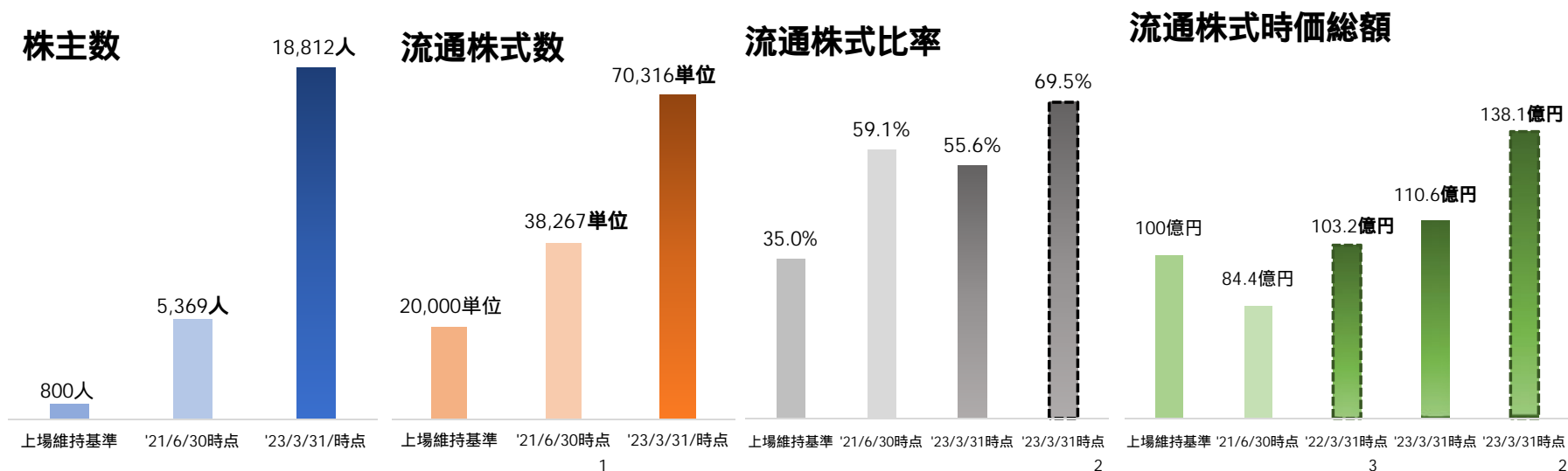
2023年3月期 通期 地域別売上高構成比



アジア：主に中国、香港 米州：主にアメリカ、ブラジル

プライム市場上場維持基準の適合状況

すべての基準に適合（2023年3月31日現在）



2023年3月末時点
適合状況

適合

適合

適合

適合

1 2021年3月末現在の状況であり、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割。

2 10%以上を保有する信託銀行が投資信託・年金信託に組み入れている株式、保険会社が純投資目的で保有している株式を流通株式として加味した当社試算による流通株式比率と流通株式時価総額。

3 保険会社が純投資目的で保有している株式を流通株式として加味した当社試算による流通株式時価総額。

中期経営計画“GSI CONNECT 2024”の 進捗および2024年3月期業績予想

次代の生活品質を高める
事業の創造者として
人びとの幸せを実現する

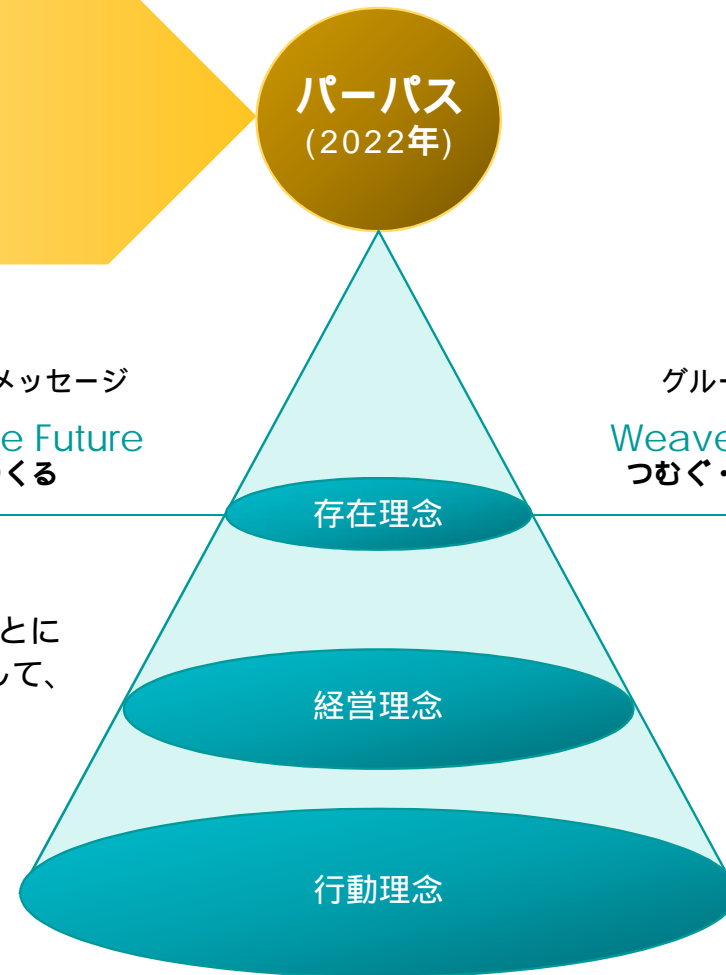
パーパス
(2022年)

コーポレートメッセージ
Produce the Future
次代をつくる

グループスローガン
Weave a New Story
つむぐ・つなぐ・つなげる

存在理念(2001年)

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。**次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサー**として、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、G S Iクレオスと価値を共創する**すべての当事者の幸せを実現します。**



ビジョン

事業創造型商社として
ニッチな分野で新しい価値を提供し、
サステナブルな社会づくりに貢献する

2つの挑戦

過去最高純利益の更新

資本市場からの
信頼度のさらなる向上

株主還元

3つの重点施策

サステナブル事業分野への
積極投資

人材の充実と
新しい働き方の推進

実効性の高い
ガバナンス体制の強化

“GSI CONNECT 2024” ~つむぐ・つなぐ・つなげる~

新たなストーリーをつむぐために、繊維と工業製品のConnect、グループ各社のConnect、ビジネスパートナーとのConnect、地域・社会とのConnectにより当社グループの強みを発揮しながら、3年間で当社グループをさらに進化・成長させて、新たなステージへConnectする。

成長ドライバー

工業製品事業

成長著しい分野にてシェア拡大を図り
当社成長を牽引する事業

基幹事業

繊維事業

新規性と機能性を付加し続け、
安定的な成長を目指す事業

事業に影響する外部環境要因

対応策

世界経済構造 の変化

- 地政学リスクの継続
- 脱炭素社会へのシフト
- 新興国の経済発展

- グローバル拠点の連携による柔軟な対応、適正価格の確保
- 再生可能エネルギービジネス実用化の推進
- グローバルサウスへの積極的投資

価値観や消費 行動の多様化

- 新しい生活様式の浸透
- 健康への意識の高まり
- サステナビリティへの対応要請

- サステナビリティに適う新規事業・新規商材の展開
- メディカル事業の深耕・業容拡大
- ESG経営の推進

2024年3月期 業績予想

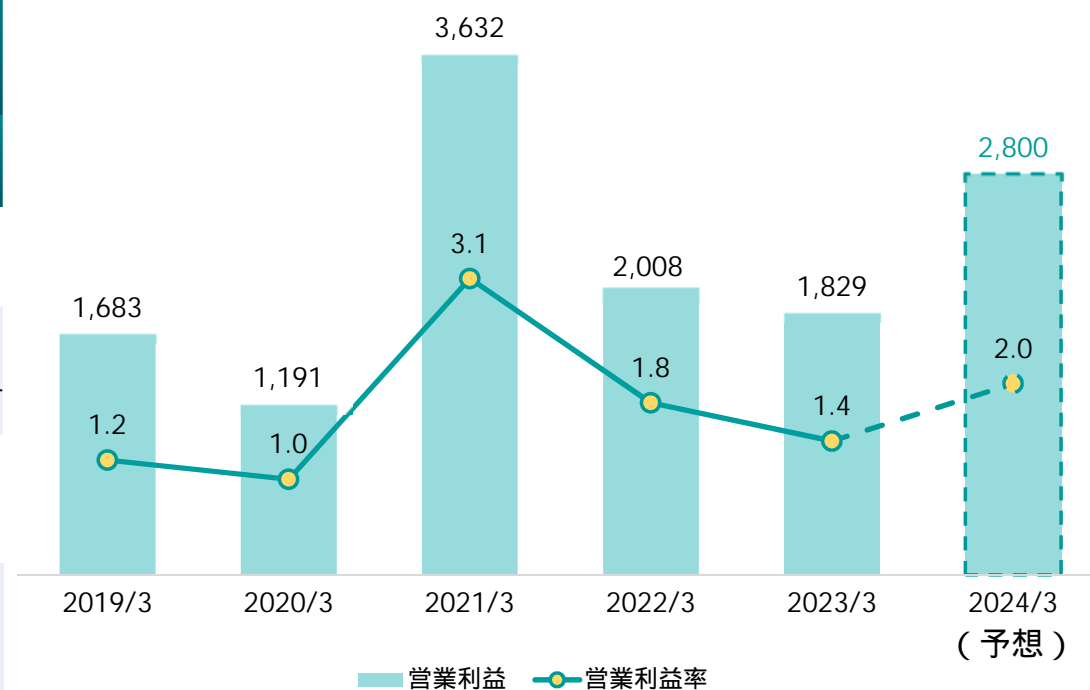
Point

- 増収増益：**
- ・ 機能系や生地の売上拡大およびインナー事業の立て直しによる益率改善。
 - ・ 半導体やホビー関連をはじめとする工業製品事業の拡大。

(百万円)

項目	2023年 3月期実績	2024年 3月期予想	
		予想数値	前期比
売上高	131,054	137,000	5,946
営業利益	1,829	2,800	971
経常利益	1,787	2,800	1,013
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,769	1,950	181

営業利益および営業利益率の推移



2024年3月期 事業別業績予想

売上高

(百万円)

事業	'22年3月期	'23年3月期	'24年3月期予想	前期比
繊維事業	83,203	98,767	102,000	3,233
工業製品事業	28,626	32,286	35,000	2,713
合計	111,829	131,054	137,000	5,946

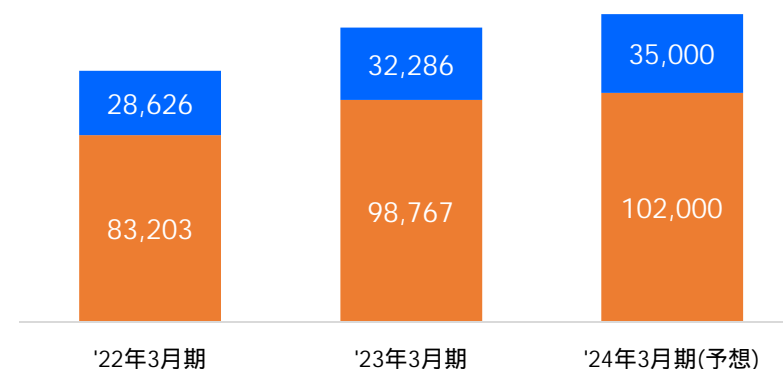
営業利益

(百万円)

事業	'22年3月期	'23年3月期	'24年3月期予想	前期比
繊維事業	695	514	1,200	686
工業製品事業	1,891	1,997	2,400	403
調整	579	682	800	118
合計	2,008	1,829	2,800	971

■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

(百万円)



■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

(百万円)



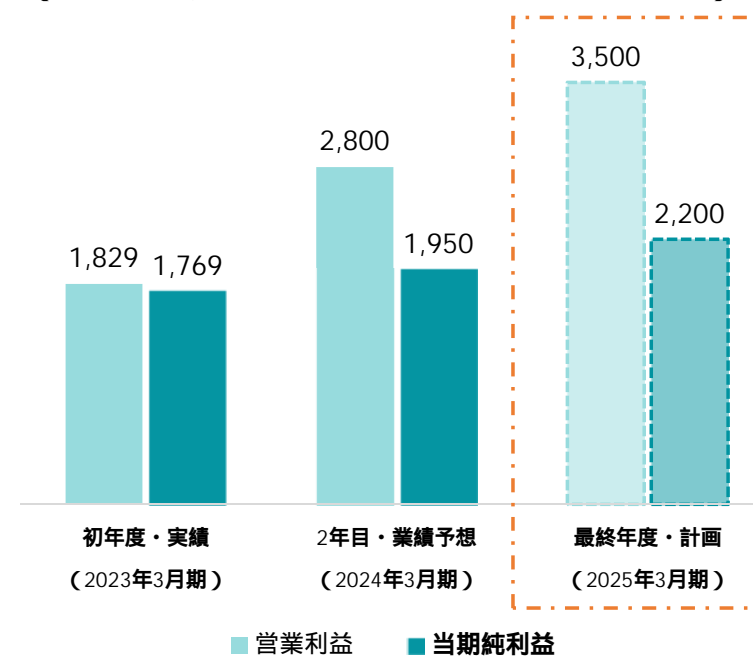
中期経営計画 “GSI CONNECT 2024” の推移

Point

- ・2023年3月期、一過性の要因による貸倒に関する費用の計上はあったものの、本要因を除く営業利益は約2,300百万円となり、事業計画は順調に推移。
- ・中期経営計画（2021年11月21日公表）の着実な実行により、計画最終年度の目標数値の達成を目指す。

科目（百万円）	初年度 （2023年3月期） 実績	2年目・業績予想 （2024年3月期）		最終年度・計画 （2025年3月期）
		予想数値	前期実績比	
売上高	131,054	137,000	104.5%	135,000
繊維事業	98,767	102,000	103.3%	95,000
工業製品事業	32,286	35,000	108.4%	40,000
営業利益	<u>1,829</u>	<u>2,800</u>	153.1%	<u>3,500</u>
経常利益	1,787	2,800	156.7%	3,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	<u>1,769</u>	<u>1,950</u>	110.2%	<u>2,200</u>

中期経営計画の推移
（営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益）

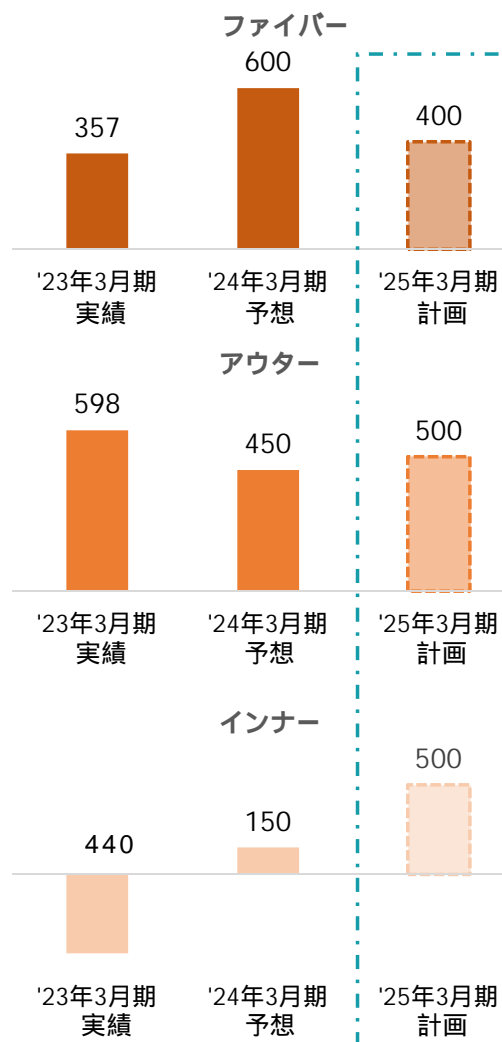


中期経営計画におけるセグメント別業績目標（営業利益）

繊維事業

繊維事業合計

(百万円)



ファイバー

- 素材加工力を活かした独自性・機能性の高い商材の展開
- メディカル繊維原料・製品開発に注力

アウター

- 海外アパレル向け生地への拡販
- 企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大

インナー

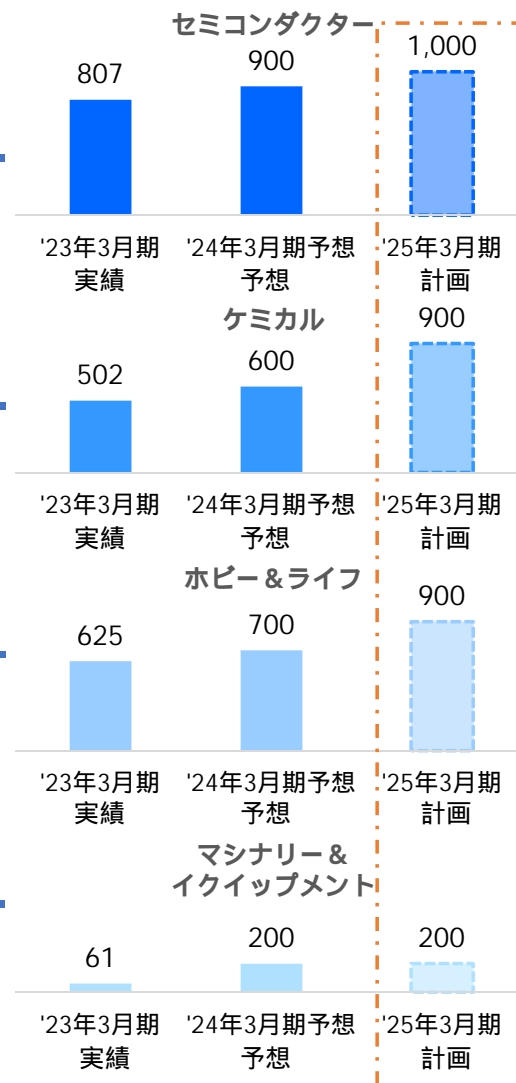
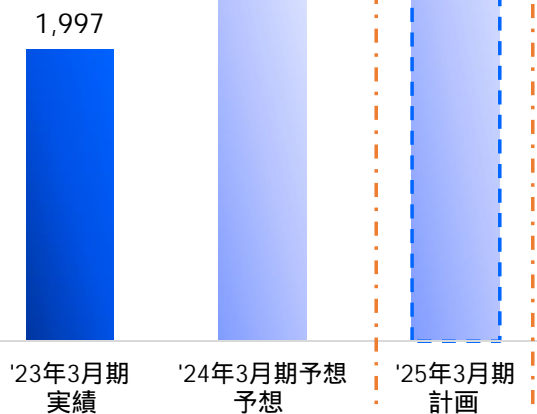
- 企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大
- 為替ヘッジや価格交渉の強化により適正価格の実現

中期経営計画におけるセグメント別業績目標（営業利益）

工業製品事業

工業製品事業合計

（百万円）



半導体

- 供給・販売ルート拡充
- 日本製半導体関連商材の海外拡販
- 海外製半導体関連商材の日本市場拡販

ケミカル

- グループ連携による塗料原料の拡販
- 機能性樹脂・フィルム拡販
- 有機・無機半導体関連商材の拡販

ホビー&ライフ

- 自社ブランド品（模型塗料など）の海外販売の強化
- グループ連携による化粧品原料の国内外での販売
- 植物由来界面活性剤などの拡販

マシナリー&イクイップメント

- 大手メーカーとの連携により、複合材料成形設備・部材や塗料装置の拡販
- 理化学機器の拡販、メンテナンスに注力
- 炭素繊維強化樹脂の用途拡大



サステナブル原系、生地 メーカーとの協業により製品化を推進

医療介護製品 関係会社の素材加工技術を活用した製品開発

生分解性樹脂 農業用途の市場シェア拡大に注力

有機エレクトロニクス向け高分子事業 産学連携による実用化の推進

ナノテクノロジー リチウムイオン電池の容量拡充や高機能表面処理に注力

繊維事業



植物由来の高強力ポリエチレン「Verplants®」を開発



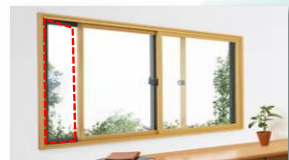
「Verplants®」は、サトウキビ由来の原料を使用した植物由来の高強力ポリエチレン素材で、従来品の石油由来ポリエチレン製品と比べ、CO₂排出量を70%削減することができる。
糸としてエコマークを取得しており、耐切創手袋をはじめ、ニット生地や布帛生地の試作を進んでいる。

ライフサイクルでのCO₂排出量比較



工業製品事業

再生可能エネルギー有機太陽電池(OPV)の開発



住宅(窓)

潜在市場規模(国内)
100万戸、500億円



携帯機器・IoTセンサ

携帯用充電器市場(国内)
200億円

共同開発



車載(ルーフ・ボディ)

潜在市場規模(国内)
50万台、1,000億円



屋外(屋根/ファサード)

BIPV市場予測(世界)
1,900億円

薄く、軽く、曲がる、透明なOPVによる
「BIPV」の実現へ！

当社は山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター(INOEL)と共に透明、半透明OPVを用いたBIPV(Building-Integrated Photovoltaics)の研究開発を実施中。BIPVは、建築のファサードや窓、遮光カーテンなどあらゆる場所に設置する建材一体型PVで、広範囲の太陽電池化を進めるための切り札とされる。今後市場ニーズを捉えながら、様々な用途展開に注力していく。

資料提供 INOEL

中期経営計画期間中において、経営資源配分の最適化により、成長分野や強化分野への投資を推進する。



事業投資

- ベトナム、インド新興市場への拡大
- メディカル繊維製品の設備や南米メディカルクリニックへの投資
- 有機エレクトロニクス向け高分子事業やその他成長分野への投資

DX関連投資

デジタル、IT技術の活用による企業競争力強化のDXプロジェクト推進、働き方の多様性の実現

人材・教育関連投資

多様な人材の採用、新入社員研修の充実、DX人材の育成、社内教育制度（教育体制やクレオスアカデミーなど）の強化

事業基盤整備投資

オフィス移転による本社機能の拡充および業務効率の向上

株主還元

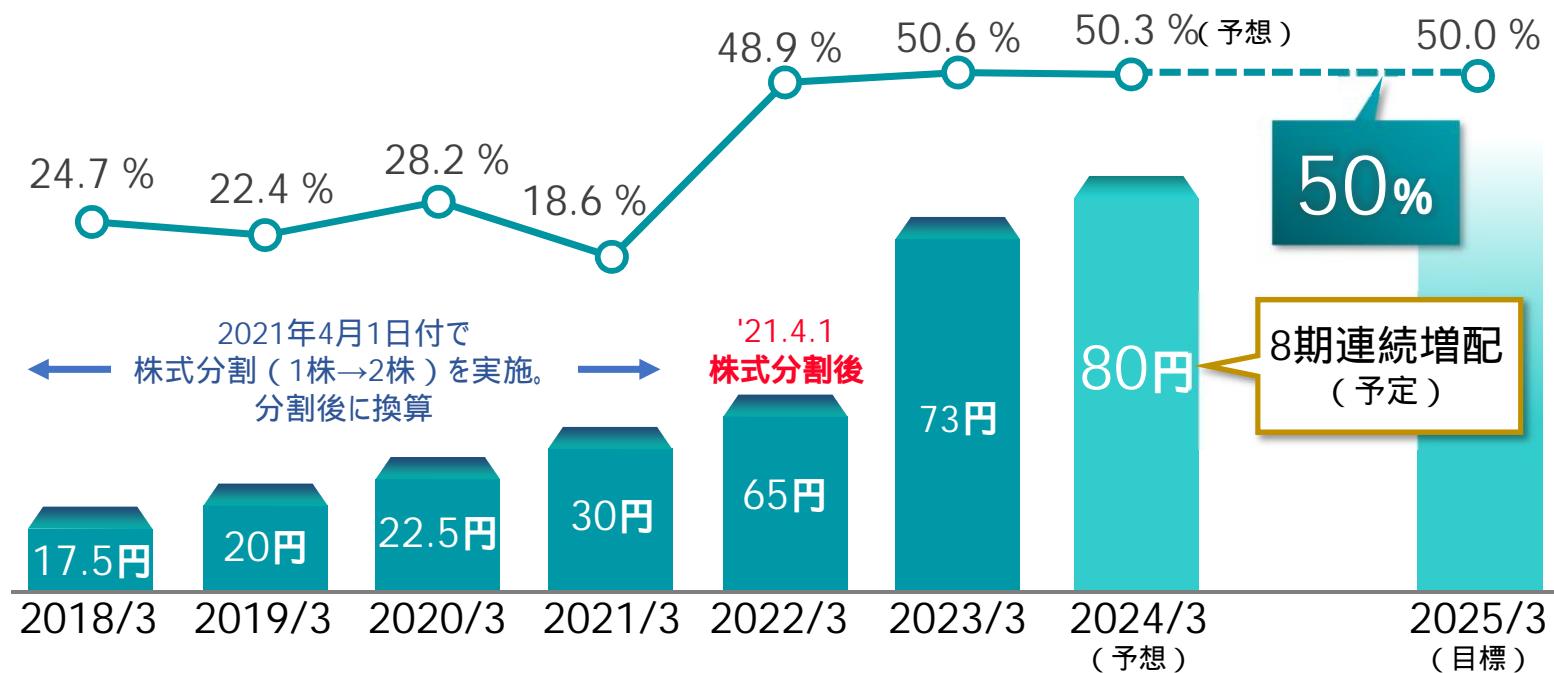


基本方針

安定的かつ継続的な利益還元を実施する

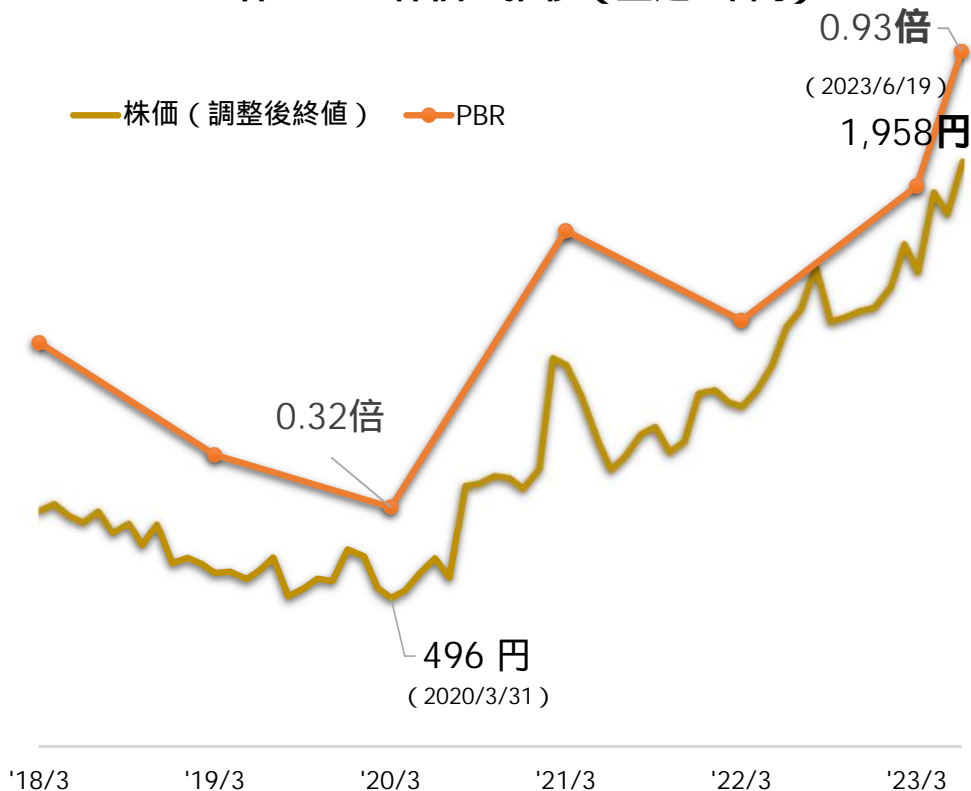
● 配当性向を50%とする

● 機動的な自己株式取得



PBRの改善に向けて企業価値を高める

当社PBRと株価の推移（直近5年間）



PBR改善に向けた諸施策

ROE（8%～9%）の達成

高付加価値ビジネス
モデルへの転換

成長分野へ積極的投資

資本効率の向上

IR活動の強化

株主還元

Weave a New Story

企業価値向上

収益力を高め、
持続的成長により
株価の上昇を実現

$$\text{PBR (株価純資産倍率)} = \text{PER (株価収益率)} \times \text{ROE (自己資本利益率)}$$

參考資料



設立

1931年（昭和6年）10月31日

売上高

1,310億円（2023年3月期 連結）

従業員数

610名（2023年3月末 連結）

代表取締役 社長執行役員

吉永 直明

本社所在地

東京都港区芝 3 - 8 - 2

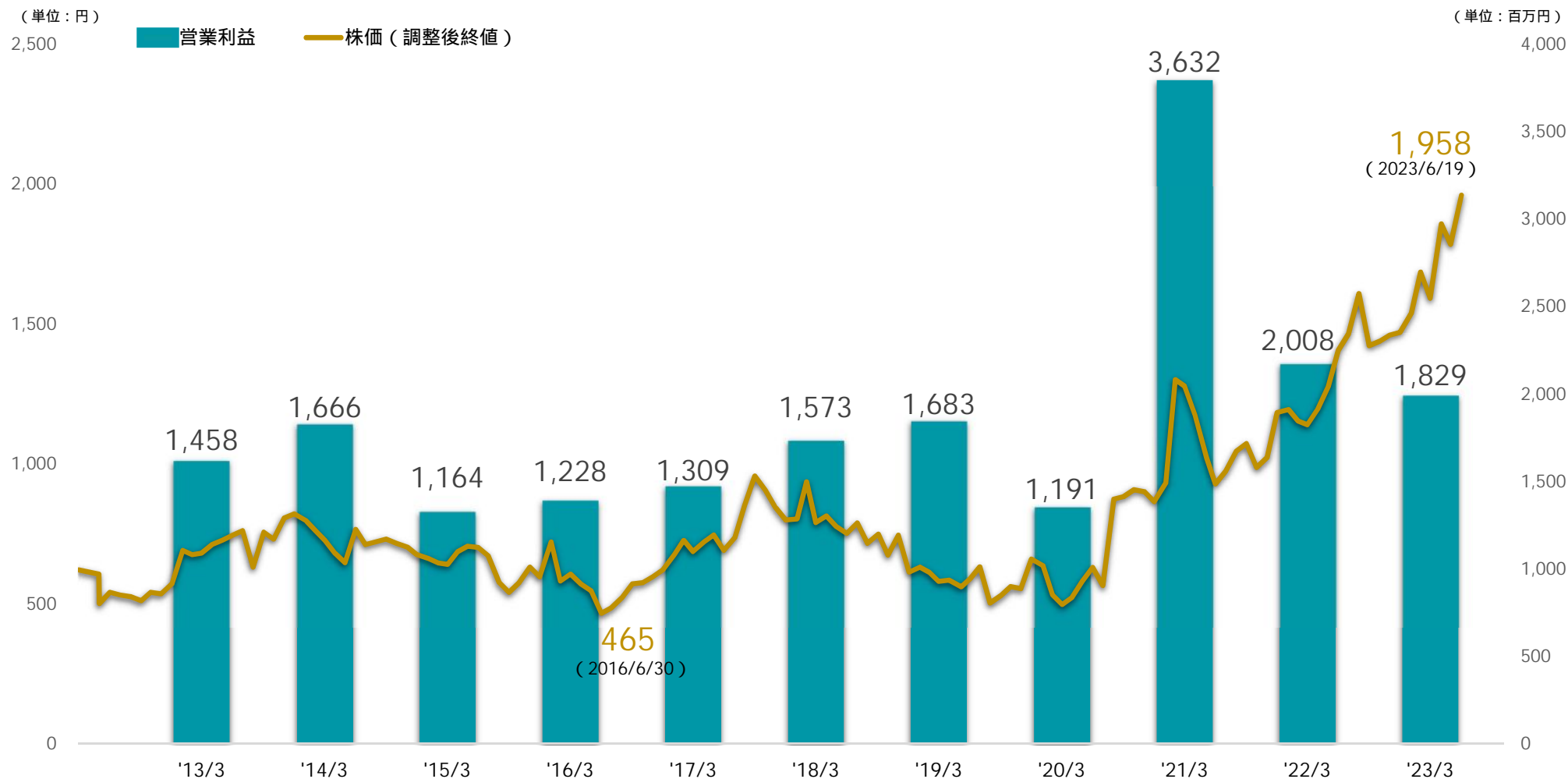
拠点

国内7カ所/海外23カ所

主要取引先

グンゼ株式会社、東レ株式会社、
東洋紡株式会社 他

直近10年間株価と営業利益の推移



グループ会社一覧【国内】

	国内関係会社	事業内容
工業製品	株式会社セントラル科学貿易	理化学機器、医療機器等の販売
	株式会社ジーマーク	花火、家具等の販売
	株式会社オフィス・メイト	不動産の管理および仲介、保険代理店業務
	桜物産株式会社	包装用フィルムや包装資材の加工・販売
繊維	株式会社いずみ	ファンデーションを主とした女性用下着等の企画・製造および販売
	G S I マルロンテックス株式会社	ストッキング・ソックス用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社クレオスアパレル	婦人衣料品および関連商品の企画・製造および小売・卸売販売
	株式会社G S I アブロス	カジュアルブランドやニット製品等の企画・製造および販売
	日神工業株式会社	各種繊維製品の製造・加工および販売
	但馬合織株式会社	ストッキング・タイツ用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社ソフィア	各種繊維製品の製造・加工および販売

グループ会社一覧【海外】

海外関係会社		事業内容
GSI Holding Corporation	アメリカ	北米地域における持株会社
GSI Exim America, Inc.	アメリカ	生地、アパレル、半導体関連商材、化成品、ホビー関連商材等の輸出入
GSI Europe-Import+Export GmbH	ドイツ	化成品、機械、その他工業製品の輸出入
GSI Trading Hong Kong Limited	香港	繊維原料、生地、樹脂・フィルム等の輸出入
科立思管理（上海）有限公司	中国	繊維原料、生地、インナー製品、フィルム、化成品、その他工業製品の輸出入、アウターOEM業務等
郡産貿易（深圳）有限公司	中国	繊維原料・製品、フィルム、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Korea Co., Ltd.	韓国	繊維関連商材、化成品、樹脂、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Brasil Ltda.	ブラジル	化成品、メディカル機器等の輸出入
GSI Creos (Thailand) Co., Ltd.	タイランド	繊維原料、生地、インナー製品、化成品、その他工業製品の輸出入
PT. GSI Creos Indonesia	インドネシア	繊維原料、化成品、その他工業製品の輸出入
GSI Creos Technology (China) Co., Ltd.	中国	半導体関連商材の中国国内販売
北京吉思愛針織有限公司	中国	ソックス等の製造、販売
平湖科立思紡織有限公司	中国	ソックス等用原糸の紡績、染色加工および販売

GSI Creos

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。